

令和 8 年度事業計画

日本サニテーションコンソーシアム（J S C）は、アジア太平洋水フォーラム（A P W F）のサニテーションに関するナレッジハブ活動を通じて、アジア・太平洋地域の衛生状況の改善に貢献するため、令和 8 年度（2026 年度）において、以下のような事業を実施する計画である。

1. ネットワーキング

（国際機関と連携し、各国の衛生関係機関とのネットワークを構築する）

ナレッジハブの活用を促進するために、アジア・太平洋地域のサニテーションに関する機関、団体等を見出し、ネットワークの拡大を図るため、各種会議、ワークショップ等に参加する。

2. 情報収集

（アジア・太平洋地域のサニテーションに関する情報データベースを構築し、各国の衛生改善に関する調査を実施する）

2-1 APWF 執行審議会への参加

第 34 回アジア太平洋水フォーラム執行審議会（7 月頃開催を想定）に参加し、サウジアラビア・リアド（2027 年 3 月 22 日～26 日）で開催される第 11 回世界水フォーラムに関して関係者が集合すると想定される会合において、今後のアジア太平洋地域におけるサニテーションの動向を把握するとともに、J S C および関連省庁の最新の活動状況等についての情報を共有する。

2-2 スtockホルム世界水週間への参加

8 月 23 日から 27 日まで開催されるストックホルム世界水週間にオンラインで参加する。目的は、サニテーション分野における最新の動向に関する情報を収集し、学ぶとともに、J S C および関連活動に関する情報を提供することである。

3. 知識の普及と情報共有

サニテーションに関する日本等の先進国の知識と経験の普及、途上国の情報と知識の共有のための国際セミナーを開催する。

3-1 アジア汚水管理パートナーシップ (AWaP)の支援

第6回AWaP運営委員会が8月5日に開催される予定であり、事務局を日本下水道事業団(JSC)が担当する。JSCは運営委員会及び技術セミナーの進行等に関する支援を行う。

3-2 第11回世界水フォーラムへの参加とセッションの主催

サウジアラビア・リアド(2027年3月22日～26日)で開催される第11回世界水フォーラムにおいて、国土交通省等の方針を踏まえテーマ別セッションを主催する。

また、各セッション、イベント等に参加し、サニテーションに関する世界的な動向の把握に努める。

3-3 第14回アジアにおける分散型污水处理に関するワークショップ

前年度に引き続き、アジアにおける分散型污水处理システムの普及推進に向けて各国間の情報共有並びにネットワーク構築を図るため、2026年に環境省が主催する「第14回アジアにおける分散型污水处理に関するワークショップ」の開催を支援する。

4. 国際援助機関への支援

ADBやJICA等国際援助機関に対し、サニテーション関係技術者の養成を支援するとともに、プロジェクトの調査や適正技術の選定に対する助言や専門家の紹介などを行う。

特にADBとは、年度前半には覚書を締結し、研修プログラム開発に向けての具体的な協議の開始を目指す。

5 その他の活動

5-1 下水道事業の理解促進等の対応方策についての検討

JSCの1年間の活動で得られた知見等を下水道事業の理解促進の面から整理する。本活動は、国土交通省「下水道分野における国際会議運営業務」の一環として実施する。

5-2 ISO/TC224/WG8、WG10及びCG会議への参加と関連活動の協力と貢献

ISO/TC224の上記のワーキンググループの会議に参加し、ISO規格の作成活動およびISO関連情報の収集を行う。